

電解還元温泉器 [ホームSPA]

HomeSPA

取扱説明書

お客様用

■HS-A1000

 **YAZAKI**

発売元 矢崎総業株式会社

製造元 矢崎資源株式会社

はじめに

この度は、電解還元温泉器「ホームスパ」をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

本機は、浴槽のお湯から残留塩素を減らし還元系のお湯に変える家庭用の浴槽用循環装置です。本機を安全に使用していただくために、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みいただき、内容を十分理解されてから正しくご使用ください。

- ・本書はいつでもご覧いただけるとところに大切に保管してください。
- ・保証書にお買い上げ日、販売店名などが記入されていることをご確認ください。

弊社では、本機を末永く安心してご使用いただくために、全国に矢崎グループ関連会社(巻末)を設け、万全のサービス体制を敷いております。消耗部品のご注文、交換、機器の定期点検および故障修理に関するご相談がございましたら、お気軽にご用命ください。

重要情報－１

本機をより安全に、安心してご使用いただくための重要な情報をまとめています。
ご使用前に必ずお読みください

＜安全情報＞

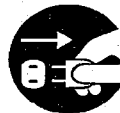
安全に関する事項をまとめています。

【１】ご使用上の警告

本機をお使いになる場合、感電、火傷などに十分注意してください。
詳細については、３～４ページをお読みください。

【２】安全情報の表示説明

この取扱説明書では、安全に関する注意及び内容を下記のシンボルマークで表示しています。
いずれの情報も重要な内容を記載していますので、必ずお守りください。

 警告	取り扱い作業を誤った場合、人が死亡または重傷を負う危険が生じることが想定される場合について説明しています。	
 注意	取り扱い作業を誤った場合、人が傷害を負うか、または物的損害のみが発生する危険が生じることが想定される場合について説明しています。	
 留意	製品の性能または運転・維持管理について特に知っておいていただきたい事項や作業の要点を説明しています。	
	禁止の行為であることを告げるものです。	
	行為を強制したり指示する内容を告げるものです。	 電源プラグをコンセントから抜いてください。
		 必ず行ってください。

＜試運転・定期交換・定期点検等に関するお願い＞

1) 試運転チェック

試運転チェックとは、本機の設置工事完了後に行う初期動作の確認のための点検です。この作業は設置業者が行いますが、お客さまも一緒にご確認願います。

- 1) 残留塩素消去剤が本機に組み込まれていることをご確認ください。(13ページ参照)
- 2) 電源線のアース(緑色線)がコンセントのアース端子やアース棒に適切に接続されていることをご確認ください。
- 3) 本機に呼び水を入れてください。その時に吐水口から出る水は約10L捨ててください。呼び水の入れ方は11ページを参照願います。
- 4) 本機の吸水口(スポンジフィルター)が完全に隠れるまで浴槽に水を張ってください。
- 5) 本機の電源スイッチを押し、次にスタートスイッチを押して水が循環することをご確認ください。

2) 定期交換・定期点検

本機を末永く安心してご使用いただくためには、消耗部品の定期交換や本機の定期点検が必要です。13～14ページを参考に必ず実施してください。

- 1) 代表的な消耗部品 : 残留塩素消去剤、洗浄用塩、プレフィルター(スポンジ)
- 2) 定期交換時期・定期点検時期の目安

項目	期間(目安)
残留塩素消去剤の交換	・1日1回運転の場合: 約6ヶ月毎 ・1日2回運転の場合: 約3ヶ月毎
洗浄用塩による洗浄	約3ヶ月毎
プレフィルターの交換	約6ヶ月毎

3) ご使用期限の目安

- 1) 本機の寿命は、ご使用の水質や維持管理の状況により大きく左右されます。
- 2) 設置後、6年程度を経過した本機については、更新をおすすめ致します。
- 3) 補修用性能部品の有効期間は、製造打ち切り後7年間です。
(補修用性能部品とは製品の機能を維持するために必要な部品です。)
- 4) 機器のお取り外し及び廃棄処分にお困りの場合は、販売店または巻末の矢崎総業(株)・矢崎グループ関連会社(以下、当社)にお問合せください。

目次

1) 安全のために特に注意していただきたいこと	3～4ページ
2) ご使用時に注意していただきたいこと	5ページ
3) 各部の名称	6～7ページ
4) 付属品	8ページ
5) 仕様	9ページ
6) 外観図	9ページ
7) 工事後の確認項目	10ページ
8) ご使用方法	11～12ページ
9) お手入れ・点検の方法	13～14ページ
10) 長期間使用しない場合の処置	15ページ
11) 修理を依頼される前に	15～16ページ
12) 矢崎総業及び矢崎グループ関連の連絡先	巻末

1) 安全のために特に注意していただきたいこと

1) 設置に関すること

⚠ 警 告

	設置は専門業者に依頼してください。 お客様ご自身で設置をされて不備があると水漏れ・感電・火災・その他事故の原因となります。なお、本体の移動、転居などの場合は販売店または当社までご相談ください。
	屋外に設置されたコンセントから電源をとる場合は、販売店または当社にご相談ください。お客様ご自身で工事され不備があると感電、火災、事故の原因となる場合があります。
	電源電線は他の電気器具とのタコ足配線をしないでください。 感電や過熱・火災の原因となります。
	電源電線は無理な力をかけたり、破損させたり、加工しないでください。 感電や火災の原因となります。
	プラグ型漏電ブレーカが確実に差し込まれていることをご確認ください。 ホコリが付着したり、接続が不完全な場合は感電や火災の原因となります。

⚠ 注 意

	使用可能な水質は、厚生労働省が定める水質基準に適合する水質のみです。 それ以外は、使用しないでください。また、鉄分や濁りのある井戸水などは使用しないでください。故障の原因になったり、本来の性能が得られないことがあります。
	吸水口フィルターに付属する吸盤以外で吸水ホースの固定はしないでください。 吸盤は吸水口フィルター・吐水口の固定以外に使用しないでください。

2) お手入れ・点検に関すること

⚠ 警 告

	お客様ご自身で本機の改造、分解、修理は絶対にしないでください。 火災や感電の原因となります。
	本機を誤って浴槽水に落とした場合は感電の原因となりますので、以下の順で処置してください。①プラグ型漏電ブレーカをコンセントから抜いてください。②本機を引き上げてください。③販売店または当社に修理を依頼してください。
	残留塩素消去剤の交換時、吸水口のプレフィルター(スポンジ)・吸水フィルターの清掃時、その他掃除やお手入れの際は、必ずプラグ型漏電ブレーカをコンセントから抜いてください。故障や感電の恐れがあります。

⚠ 注 意

	本機が確実に固定されていることを定期的を確認してください。 転倒してケガや故障の原因になることがあります。
	消耗品(残留塩素消去剤など)の交換やメンテナンスは定期的の実施してください。 定期的の実施しないと本来の性能が得られません。

3) 使用に関すること

⚠ 警 告

	吸水口に毛髪が吸い込まれる恐れがあります。プレフィルター等が取れた状態で運転しないでください。また、運転中には浴槽内には潜らないでください。特にお子様の入浴には充分ご注意ください。
	湯かげんを確かめてから入浴してください。 やけどの恐れがあります。
	お子様には本機に触れさせないようにしてください。 本機の転落事故の恐れがあります。
	プラグ型漏電ブレーカを抜き差しして本機の運転や停止をしないでください。 感電や火災の原因となります。
	プラグ型漏電ブレーカの抜き差しをぬれた手でしないでください。 感電の恐れがあります。

⚠ 注 意

	入浴剤を使用する場合は先に本機を運転し、停止した後にお入れください。この時、再運転を行うと本機の故障や発熱につながる恐れがありますのでおやめください。また硫黄や塩を大量に含有した入浴剤などは本機の寿命を短くする恐れがありますので使用はお避けください。
	浴槽及び本機吐水口から出てくるお湯は飲用しないでください。 健康を害することがあります。
	通常の入浴以外の目的には使用しないでください。故障の原因となります。
	吸水ホースと吐水ホースを入れ替えないでください。 故障の原因になったり、本来の性能が得られないことがあります。
	本機の上に乗ったり、体重をかけるなど無理な力をかけないでください。 ケガや故障の原因になります。
	本機には水やお湯をかけないでください。 故障や火災の原因となります。
	呼び水を入れずに運転しないでください。 ポンプが空運転となり、発熱し火災の原因となることがあります。
	プラグ型漏電ブレーカに水やお湯をかけないでください。 故障や火災の原因となります。
	雷雨時は電源スイッチを切り、プラグ型漏電ブレーカを抜いてください。 ショート、漏電、火災の原因となることがあります。
	長期間ご使用しない場合は、安全のためプラグ型漏電ブレーカをコンセントから抜いてください。ホコリが溜まって発熱し火災の原因になることがあります。 また、再使用時には、吐水口から出る水を約10L捨ててください。

2】ご使用時に注意していただきたいこと

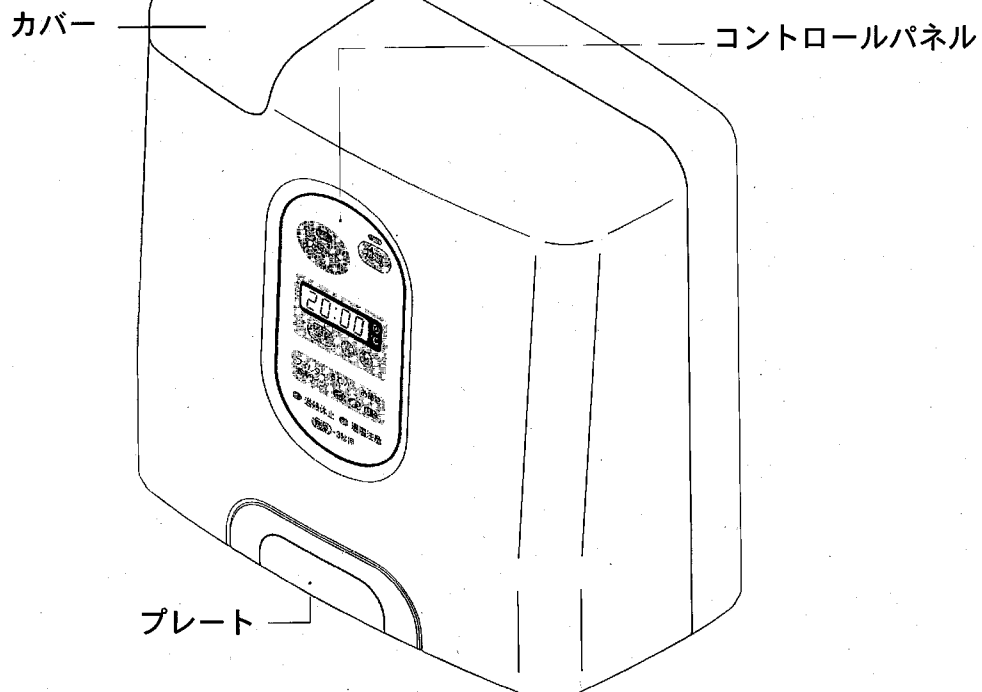
本機の性能・機能を維持し、衛生的で快適な電解還元温泉浴をしていただくための
ご使用方法を下記に記載しておりますので、必ずお守りください。
性能・機能の維持や衛生的にご使用いただくために、下記の事柄をお守りください。

▲ 注 意

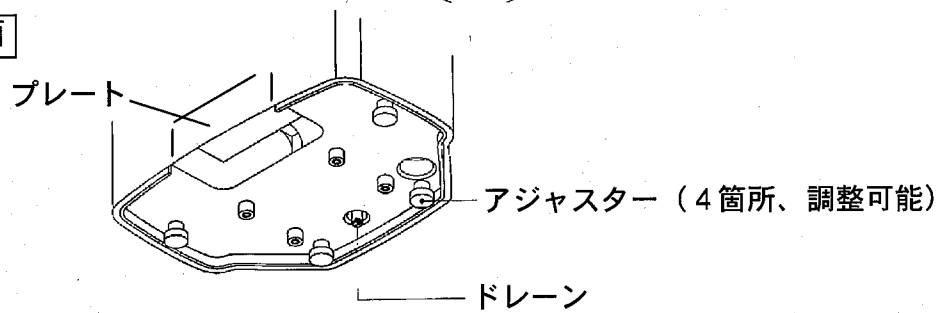
	1) 入浴前 ①本機は入浴10分前までに運転を開始してください。 10分後に自動的に運転を停止します。 ②湯量が多い場合は、2回運転(20分間)させてから入浴してください。 運転回数目安は、200リットル=1回運転、350リットルまで=2回運転です。 ③入浴に際しては、かけ湯で全身をよく洗ってから入浴してください。
	2) 入浴中 ①身体に傷や化膿症のある方は、患部を浴槽水につけないでください。 健康を害することがあります。 ②タオルを浴槽内で使用しないでください。循環を妨げることがあります。
	3) 入浴後 ①本機は24時間風呂ではありません。入浴後は必ず毎日、浴槽水のお湯を抜いてください。 ②抜き取った後、浴槽に付着した湯垢や汚れを掃除してください。 ③吸水ホースの先端部のプレフィルター(スポンジ)、吸水フィルターに付着している髪の毛などのゴミを取り除いてください。
	4) お手入れ・点検(メンテナンス) ①残留塩素消去剤の消耗は、運転回数の頻度などで左右されます。以下の目安で交換してください。 ・1日1回運転の場合：約6ヶ月毎交換 ・1日2回運転の場合：約3ヶ月毎交換 尚、残留塩素消去剤が無くなると本来の性能が得られません。必ず、無くなる前に交換してください。 ②循環流量が低下した場合(コントロールパネルの「フィルター清掃サイン」が黄色に点灯)は、吸水口のプレフィルター(スポンジ)、吸水フィルターを掃除してください。(詳しくは13ページ参照) ③本機内部を常時清潔に保つために3ヶ月に1回「除菌水」で洗浄してください。(詳しくは14ページ参照) ④プラグ型漏電ブレーカのテストボタンによる動作確認を月に一回必ず行ってください。動作不良の場合は感電の原因となります。(詳しくは13ページ参照) ⑤その他のお手入れ・点検については、13～14ページを参照ください。

3】各部の名称

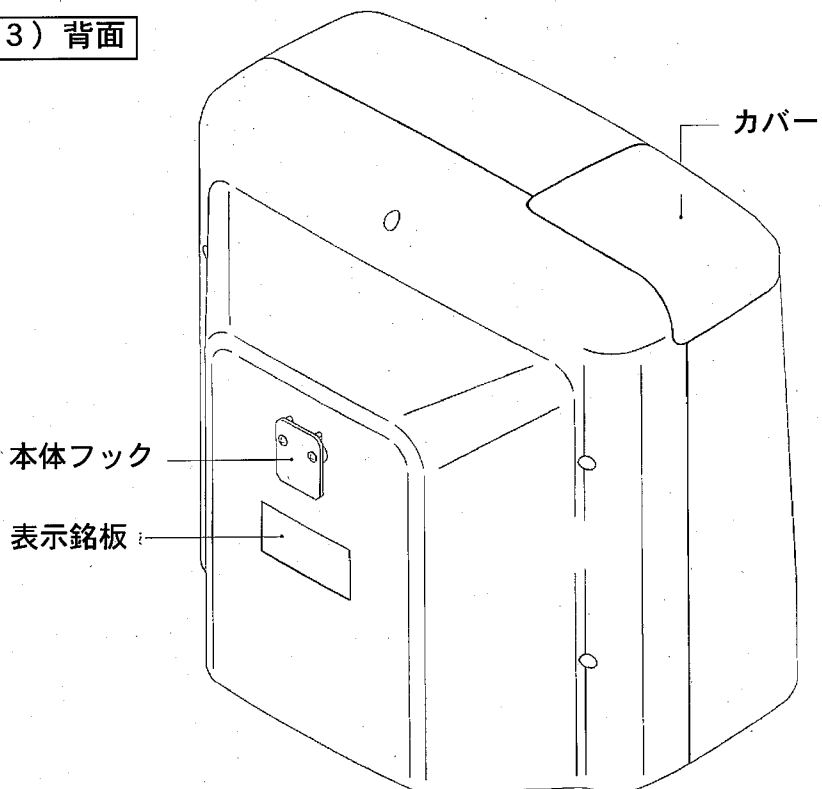
1) 正面



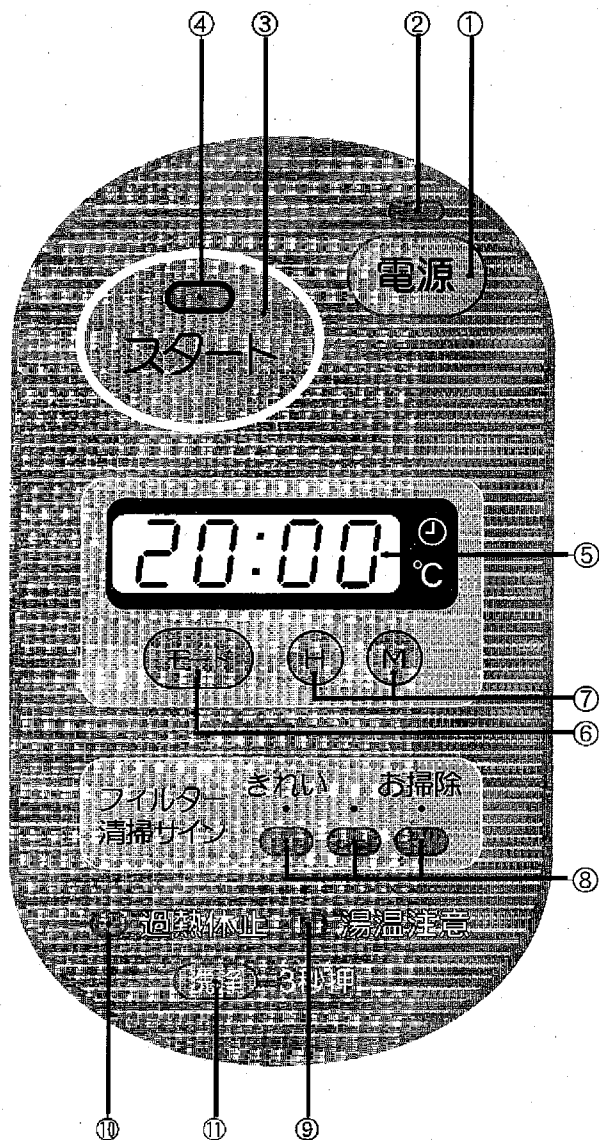
2) 底面



3) 背面



4) コントロールパネル部の名称と働き



①電源スイッチ

スイッチを押すと電源が入り、時刻を表示します。

②電源ランプ

電源が入ると点灯します。

③スタートスイッチ

スイッチを押すと、運転(10分間)を開始します。

④運転ランプ

運転を開始すると点灯します。

⑤表示部

時刻、温度、タイマー(電解・洗浄時間)、エラーを表示します。

⑥モードスイッチ

スイッチを押すと、時刻(運転中はタイマー)または 浴槽水の温度(20秒間)を表示します。

⑦時刻設定スイッチ

1秒以上押すと、設定モード(点滅表示)になって、Hで時間、Mで分の時刻が設定できます。

⑧フィルター清掃サインランプ

吸水フィルター部の目詰まり状況を表示します。(緑色点灯:きれい、黄色点灯:詰り気味、赤色点滅:お掃除) (赤色点滅するとポンプ停止します。)

⑨湯温注意ランプ

浴槽水が50℃以上になると赤ランプが点滅し、運転を停止します。

⑩過熱休止ランプ

本体内部が過熱すると赤ランプが点滅します。

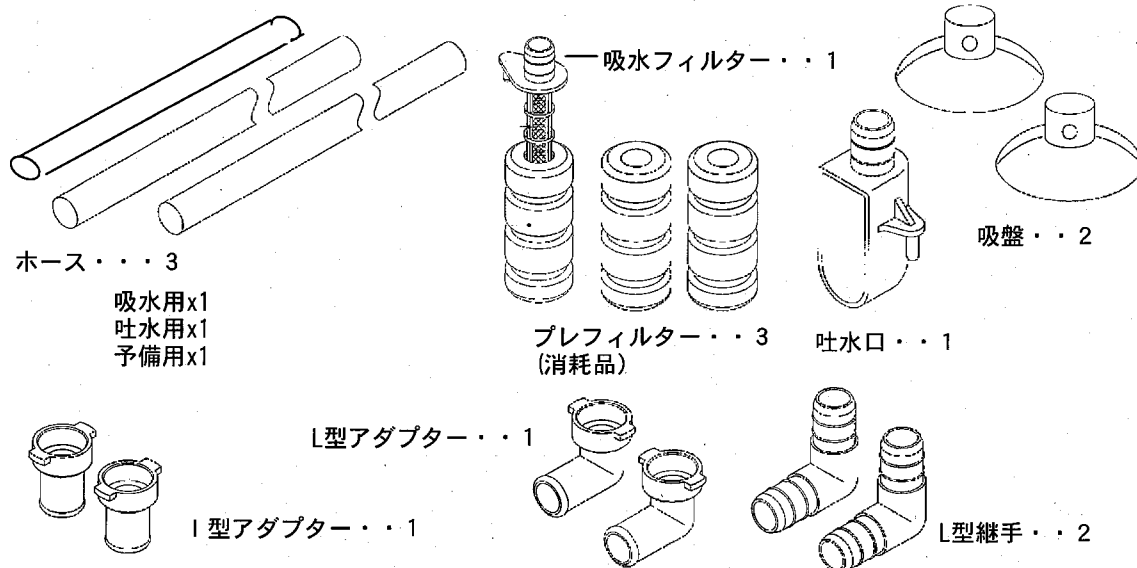
10分後には消灯し、自動的に待機状態に戻ります。

⑪洗浄スイッチ

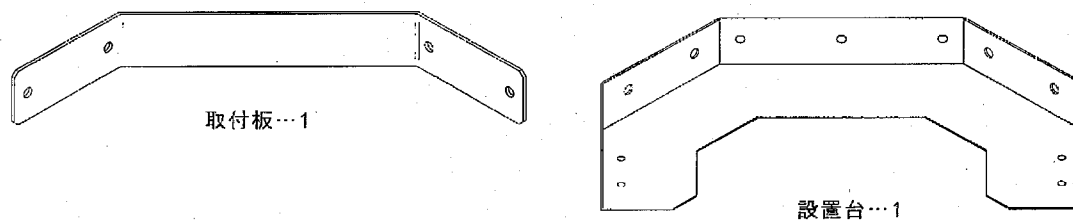
本体の洗浄運転時に使用します。ボタンを3秒以上押すと洗浄運転を行い、10分後に停止します。

4】付属品

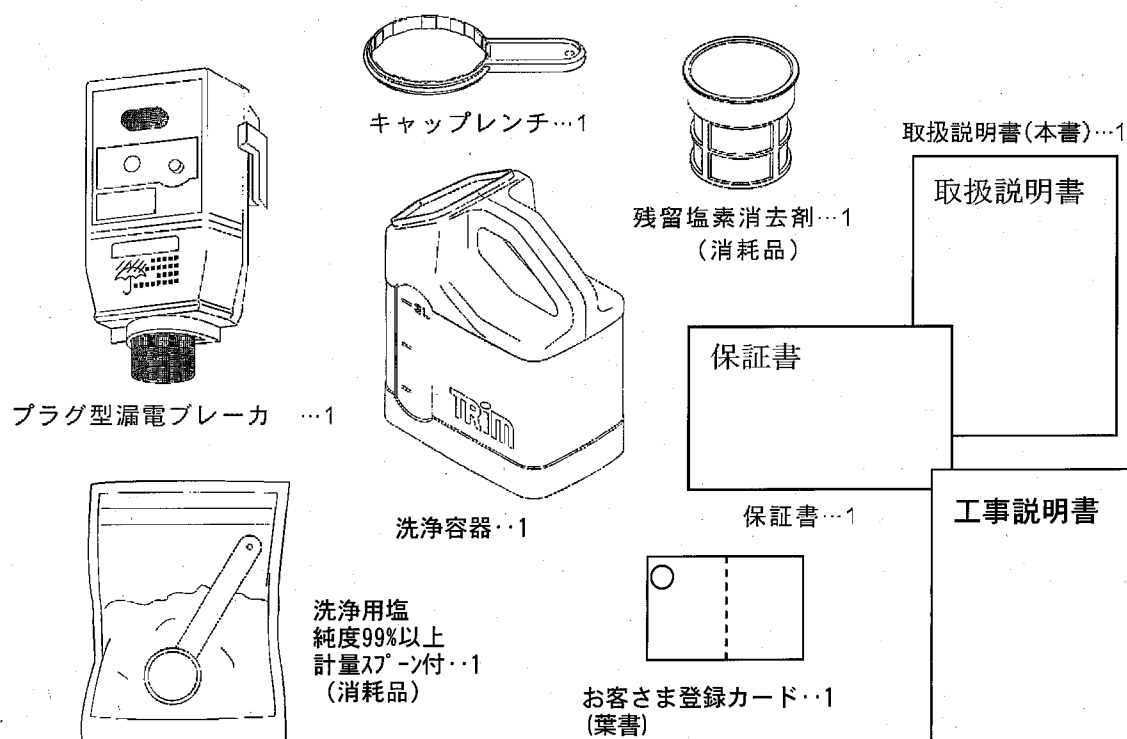
浴
湯
水
の
吸
水
・
吐
水
関
係



本
体
設
置
関
係



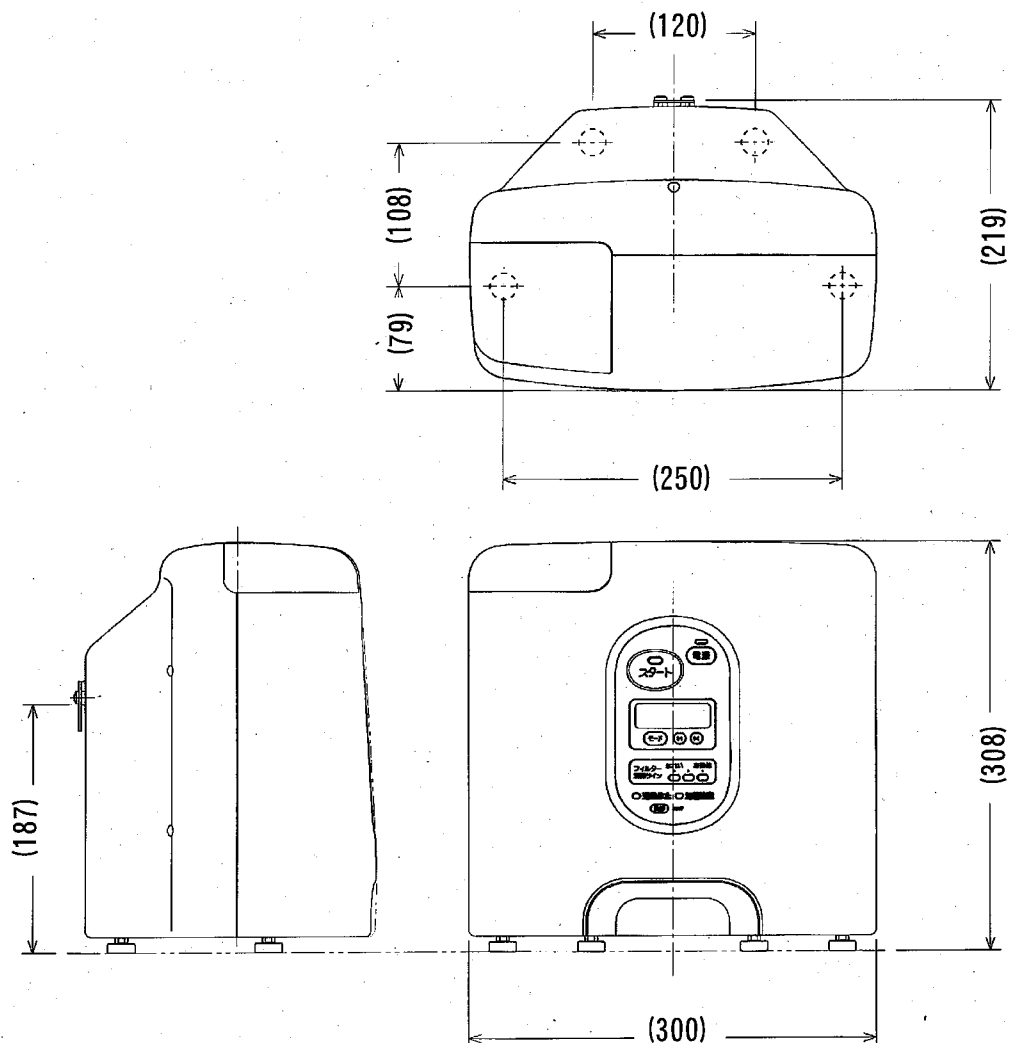
そ
の
他



5】仕様

項目	仕様
品名・形式	ホームスパ HS-A1000
定格電圧	AC100V (50/60Hz)
消費電力	約300W (MAX450W)
電解生成電圧	40V (MAX50V)
循環処理量	10L/分
定格運転時間	10分間
設置場所	室内用(浴室内用)
本体質量	約6.5Kg
外形寸法	W300×H308×D219mm
水質改善	残留塩素消去剤付 (亜硫酸カルシウム添加)
本体安全装置	過電流漏電ブレーカ、ヒューズ 過熱防止、転倒時電源遮断
その他安全装置	循環水の見詰まりのお知らせ機能 浴槽水の高温(50℃以上)警告表示

6】外観図



7】工事後の確認事項

1) アース

▲ 警告

電源線のアース線（緑色線）がコンセントのアース端子やアース棒に適切に接続されていることをご確認ください。アース線を接続しないと感電の危険があります。

2) 電源線

▲ 警告

電源線は水がかからず、手足に触れないところに配線されているかモール等でカバーされていることをご確認ください。不十分だと漏電や感電の危険があります。

3) 電源コンセント（電源を屋外から引いた場合）

▲ 警告

屋外の電源コンセント（AC100V）は屋外用を使っていることをご確認ください。屋外用コンセントを使用しないと漏電や感電の危険があります。

4) 取付工事

▲ 警告

本機は浴室壁や浴槽などにしっかり固定され、容易に外れないことをご確認ください。固定が不十分だと、転倒や浴槽内に落下して打撲や感電の危険があります。

5) 試運転

▲ 注意

試運転は必ず行い、水漏れや動作に異常が無いことをご確認ください。

▲ 注意

残留塩素消去剤が本機に組込まれていることをご確認ください。組み込まれていないと本来の性能が得られません。

6) 保証書・お客さま登録カード

留意

保証書は、販売店から必ずお受け取り下さい。販売店名・お買い上げ日等の記入をご確認の上、大切に保管してください。

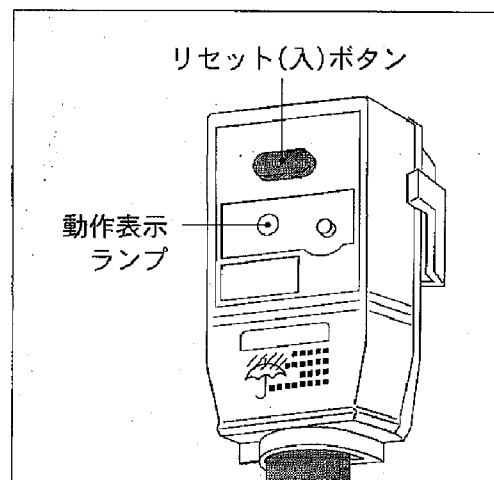
留意

お客さま登録カードは必要事項をご記載の上、必ず投函してください。お送り頂けないと定期交換部品のご案内や重要なお知らせ等をお伝えできなくなる場合があります。尚、記載して頂いた内容は、今後のサービス活動や安全点検活動等の為に活用させて頂く場合がございますので、ご了承願います。

8】ご使用方法

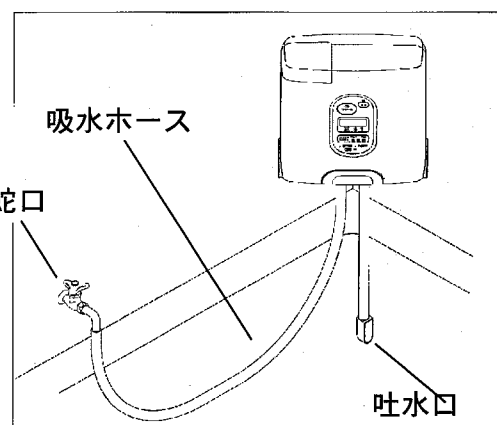
1) ご使用前の準備

- ①残留塩素消去剤が本機に組み込まれていることをご確認ください。(確認方法は13ページ参照)
- ②コンセントにプラグ型漏電ブレーカが差し込まれ、「動作表示」ランプ(オレンジ色)が消えていることをご確認ください。ランプが点灯している時はリセット(入)ボタンを押して消してください。
- ③本機が安定した状態に設置され吸水ホースと吐水ホースが接続されていることをご確認ください。
- ④呼び水を入れてください。
呼び水が入っていないと運転しません。
運転しない場合は呼び水を入れてください。
(呼び水の入れ方は下記をご参照ください。)



2) 呼び水の入れ方

- ①吸水ホースの吸水フィルターを取り外し、水道の蛇口に接続してください。長さが足りない場合は別のホースを利用して接続してください。
- ②水道の蛇口を開き、吸水ホースから呼び水を注入してください。吐水口から約10L流出した時点で、蛇口を閉め、呼び水の注入を停止します。
尚、この時に流出した水は廃棄してください

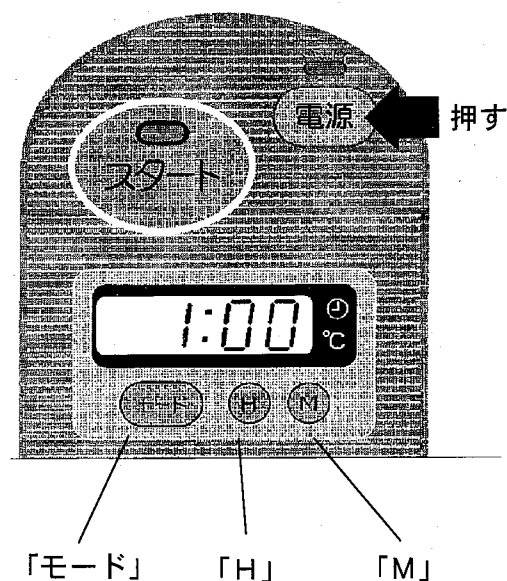


▲ 注意

呼び水を入れないで運転はしないでください。
ポンプが空運転となり発熱し火災の原因になることがあります。

3) 現在時刻の設定方法

- ①電源スイッチを押してください。
電源ランプが点灯し、待機状態となり、表示部に「1:00」が点滅表示されます。(初回のみ)
- ②時間の設定
Hスイッチを1秒以上押し続けると、表示部の時間が点滅します。点滅中はHスイッチを押す毎に1時間ずつ進みます。
点滅時にHスイッチを1秒以上押すと早送りできます。操作終了後、約3秒で点滅が点灯となり、設定が終了します。
- ③分の設定
Mスイッチを1秒以上押し続けると、表示部の分が点滅します。点滅中はMスイッチを押す毎に1分ずつ進みます。
点滅時にMスイッチを1秒以上押すと早送りできます。操作終了後、約3秒で点滅が点灯となり、設定が終了します。



4) 時刻と浴槽水の温度表示方法

- ①時刻を表示したい場合
電源スイッチを押すと時刻が表示されます。
- ②浴槽水の温度を表示したい場合
モードスイッチを押すと20秒間、表示部に温度が表示されます。

▲ 注意

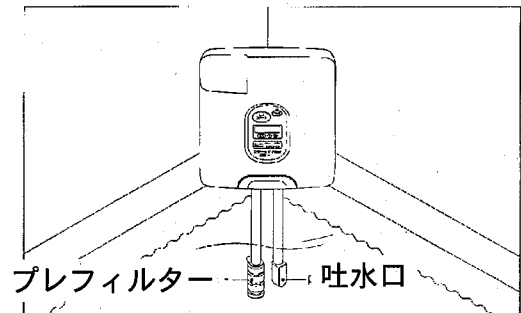
浴槽水の温度表示を行う場合は、浴槽内に水やお湯を張った状態で行ってください。

留意

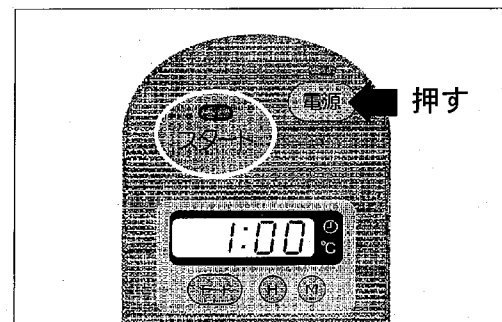
浴槽水の温度表示は目安です。設置状況や雰囲気温度等で多少変動します。

5) 運転方法

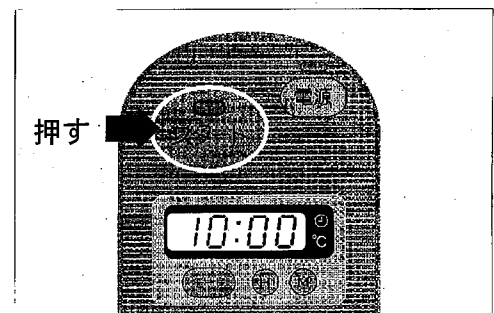
- ①浴槽にお湯または水道水を入れてください。
浴槽のお湯または水道水を吸水・吐水ホースの先端部のプレフィルターと吐水口が完全に沈むまで入れてください。



- ②電源スイッチを押してください。
電源ランプが点灯し待機状態となり、表示部に時刻が表示されます。



- ③スタートスイッチを押してください。
運転ランプが点灯し、運転を開始します。
表示部に自動的にタイマー「10:00」が表示され、カウントダウンを開始します。運転開始から10分後に自動停止します。
※再度スタートスイッチを押すと運転を開始し、10分後に停止します。



▲ 警告

運転中に吐水口や吐水ホースを人や本機等に向けないでください。水やお湯が飛び出し、火傷や感電等の恐れがあります。

留意

初回の運転時には浴槽水が泡立ち、白く濁る場合がありますが、時間が経過すると泡が消え透明な水に戻りますのでご安心ください。

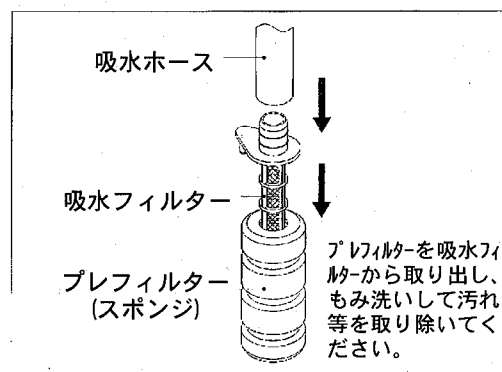
留意

吸水ホースや吐水ホースを押しつぶしたり、無理にねじ曲げたりしないでください。その状態が続くとフィルター清掃サインランプが、黄色点灯または赤色点滅します。赤色点滅した場合は、運転を停止します。

9】お手入れ・点検の方法

1) プレフィルター・吸水フィルターの清掃、交換

本機を使用しているとプレフィルター(スポンジ)部に髪の毛などの汚れが徐々に詰まります。フィルター清掃サインランプが黄色点灯または赤色点滅したら、プレフィルターと吸水フィルターのメッシュ部の汚れを取り除いてください。汚れを取り除くとフィルター清掃サインランプが緑色(きれい)に点灯します。プレフィルターは消耗品です。定期的に交換してください。

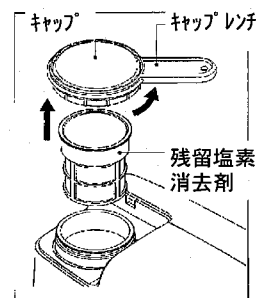
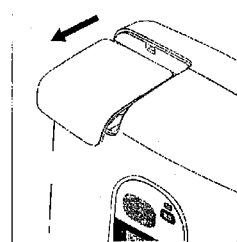


交換の目安 : 約6ヶ月毎

2) 残留塩素消去剤の交換

- ①本機左上部のカバーを前方にスライドして取り外してください。専用のキャップレンチでキャップを取り外し残留塩素消去剤を取り出してください。
- ②残留塩素消去剤の残量が少ない場合は、新しい残留塩素消去剤を挿入し、キャップを締めてカバーを元に戻してください。

前面へスライドさせて
カバーを外してください。



交換の目安

- ・ 1日1回運転の場合 : 約6ヶ月毎
- ・ 1日2回運転の場合 : 約3ヶ月毎

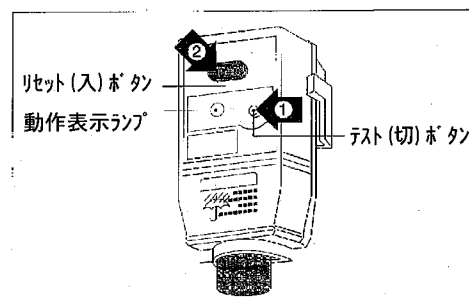
▲ 注意

残留塩素消去剤の交換は定期的を実施してください。残留塩素消去剤が消耗すると本来の性能が得られません。

3) プラグ型漏電ブレーカの点検

プラグ型漏電ブレーカは、月1回程度「テスト(切)ボタン」を押して動作確認を行ってください。

- ①「テスト(切)ボタン」を押してください。
 - ・ 正常なときは「動作表示」ランプ(オレンジ色)が点灯します。
 - ・ 本機の操作パネル部の表示がすべて消えます。
- ②「リセット(入)ボタン」を押してください。
 - ・ 本機に再び電源が入り操作パネル部の表示が点灯します。



4) 本機表面のお手入れ

本機及びホースは柔らかい布で、時々拭いてください。ベンジン、シンナーやクレンザーなどは使用しないでください。強酸や強アルカリ洗剤または薬品などは使用しないでください。

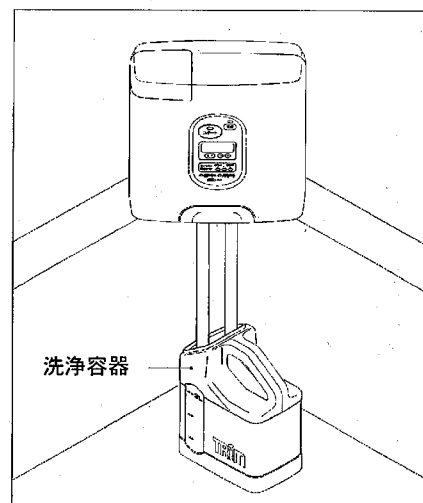
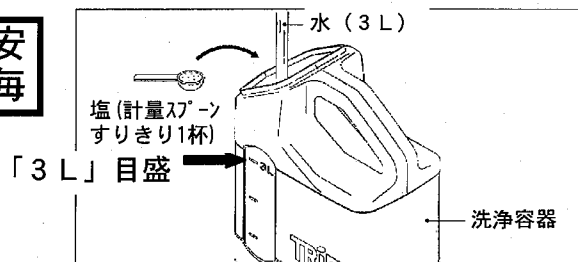
5) 除菌水による本機の洗浄除菌方法

「除菌水」で本機水路系の洗浄除菌を行ってください。専用容器に水道水と洗浄用塩(純度99%以上)を入れて運転すると「除菌水」が生成されます。この「除菌水」が本機水路系を洗浄除菌します。以下の使用方法を守って正しく洗浄してください。

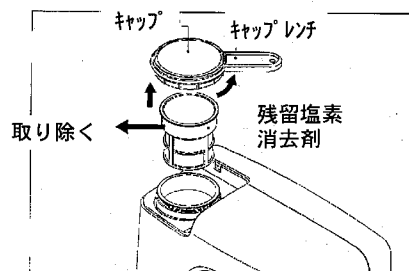
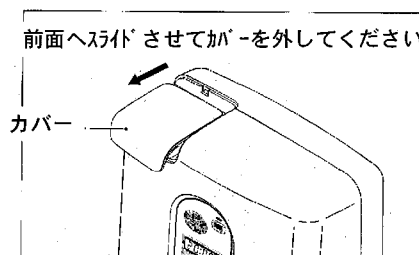
《洗浄方法》

- ① 3ヶ月に一度本機を除菌水で洗浄してください。
専用洗浄容器の「3L」目盛(約3ℓ)まで水道水を入れてください。次に洗浄用塩を約8g(付属の計量スプーンすりきり1杯)を入れ、本機の吸水ホースと吐水ホースを専用洗浄容器に挿入して浴槽の底面に置いてください。この時、吸水フィルターと吐水口が水に浸かっていることをご確認ください。

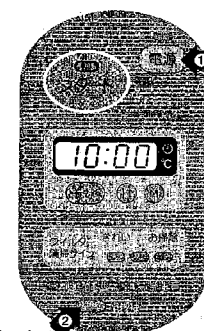
**洗浄の目安
約3ヶ月毎**



- ② 本機左上部のカバーを前方にスライドして取り外してください。次に、内部のキャップをキャップレンチで取り外し、残留塩素消去剤を取り除いてください。その状態でキャップをキャップレンチで確実に締めてください。



- ③ 本機の電源スイッチを入れ洗浄スイッチを3秒以上押しと10分間洗浄された後に自動停止します。
④ 使用済みの除菌水は環境を汚染することはありません。そのまま排水してください。尚、除菌効果が残っていますので浴室の床や浴槽内の洗浄除菌に使用することもできます。
⑤ 洗浄除菌が終了したら、残留塩素消去剤を本体に挿入し、キャップを締めてカバーを元に戻してください。



⚠ 警告



本機の洗浄除菌時は必ず浴室の窓を開け、十分な換気を行ってください。また、マスクや眼鏡、手袋等を着用してください。有害な塩素ガスが発生する場合があります、危険です。

本機の洗浄除菌時は必ず残留塩素消去剤を取り除いて行ってください。有害な塩素ガスが発生する場合があります、危険です。

本機の洗浄除菌時に生成された「除菌水」は飲用しないでください。健康を害することがあります。

※「除菌水」とは本機の洗浄モードにて生成される次亜塩素酸を含む除菌効果の高い電解次亜水のことです。(詳しくは14ページ参照)

本機の洗浄除菌時に使用する塩は純度99%以上のものを使用し、専用容器に8g(専用スプーンですりきり一杯)以上入れないでください。有害な塩素ガスが発生する場合があります、危険です。

「除菌水」に他の塩素系薬剤(浴槽洗浄剤、台所洗剤等)やアルカリ洗剤を混合しないでください。有害な塩素ガスが発生する場合があります、危険です。

「除菌水」にアルカリ性剤や脱塩素剤を混ぜないようにしてください。有害な塩素ガスが発生する場合があります、危険です。

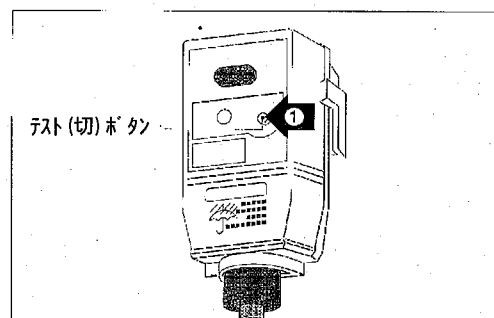
10】長期間使用しない場合の処置

長期間ご使用にならない場合は、本機内部の水が腐敗する恐れがありますので、下記に従って処置してください。尚、凍結の恐れのある場合は下記要領で水抜きを行ってください。

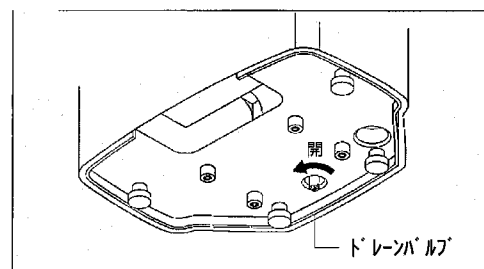
2日間以上使用しない場合	再運転開始時に吐水口から出るお湯を約10L捨ててください。
1週間以上使用しない場合	下記の長期間使用しない場合の処置に従って、水抜きを行ってください。

1) 長期停止時の処置

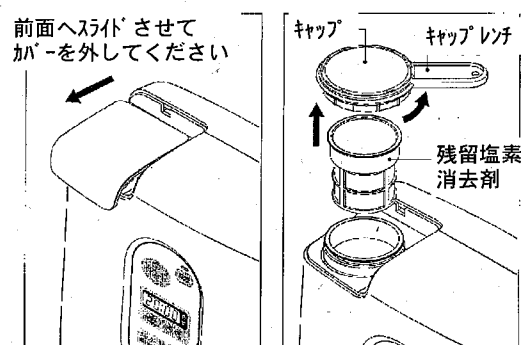
- ①プラグ型漏電ブレーカのテスト(切)ボタンを押し、操作パネルの表示がすべて消えたことをご確認ください。



- ②浴槽水はすべて抜いてください。
③本機の底にあるドレインつまみを回して、ドレインバルブを開いてください。水抜きが終了したらドレインバルブを閉じてください。



- ④残留塩素消去剤は、キャップレンチで本機から取り外し通風の良い場所に保管しておいてください。(カビ発生予防などのため)



2) 再使用時の方法

ご使用方法(11~12ページ)を参考に作業してください。
尚、本体に呼び水を入れる時、吐水口から出てきた水は約10L捨ててください。

11】修理を依頼される前に

1) 湯温注意ランプが点滅した場合

浴槽水が50℃以上になると「湯温注意ランプ」が点滅し、運転を停止します。
入浴温度を40℃前後に下げた後から再運転してください。

▲ 警告

「湯温注意ランプ」が点滅し、運転が停止した場合は火傷の危険がありますので入浴しないでください。

2) 過熱休止ランプが点滅した場合

本機内部の温度が過熱すると運転を停止します。同時に「過熱休止ランプ」が点滅し、10分後に消灯し待機状態に戻ります。再度スタートスイッチを押して運転を開始してください。

▲ 警告

- ①「過熱休止ランプ」が点滅し、運転が停止した場合は火傷、漏電の危険がありますので入浴しないでください。
- ②再度スタートスイッチを押して再び「過熱休止ランプ」が点滅した場合は、販売店または当社にお問合せください。

3) 電源スイッチを押しても電源ランプが点灯しない場合

- ①プラグ型漏電ブレーカが差し込まれていることをご確認ください。
差し込まれていない場合は差し込んでください。
- ②プラグ型漏電ブレーカのランプ（オレンジ色）が点灯していないことをご確認ください。
点灯している場合はプラグ型漏電ブレーカのリセット（入）ボタンを押してください。
それでもプラグ型漏電ブレーカランプが点灯する場合は販売店または当社にご連絡ください。

4) スタートスイッチを押しても運転しない場合

- ①プレフィルタ（スポンジ）、吸水フィルタが髪の毛などのゴミで詰まっていないことをご確認ください。それらのフィルタにゴミなどが詰まると、吸引しなくなり運転を停止し運転ランプが消灯します。
ゴミなどを除去し、スタートスイッチを押すと運転を開始します。
- ②浴槽水の温度が50℃以上になっていないことをご確認ください。
浴槽水の温度が40℃前後になってからスタートボタンを押すと運転を開始します。
- ③浴槽水の水量をご確認ください。浴槽水の水量が少なく、吸水フィルタが浴槽水に浸かっていると運転を開始しません。
お湯または水を追加してスタートボタンを押すと運転を開始します。
- ④呼び水を入れてください。長期間使用しない場合やドレーンバルブから水が抜かれた場合は呼び水を入れてください。（呼び水の入れ方は11ページ参照）

5) エラー表示の原因と処置方法

本機に異常が生じると表示部にエラーメッセージが数字で表示されます。
エラー表示が出た場合は、下記のような処置を行ってください。

エラー表示	原因	処置方法
E-11	呼び水がない	呼び水を入れ、プラグ型漏電ブレーカを引き抜き、再度差し込んでください。
E-45	電解電圧が高過ぎ	販売店または当社にご連絡ください。
E-46	電解電流が流れ過ぎ	

6) その他

下記の場合は本機の動作を確認してください。プラグ型漏電ブレーカの安全装置が働き、本機の動作が停止している場合が考えられます。

- ①本機を移動した場合
- ②強く触れ、本機が振動した場合
- ③本機が転倒、落下した場合
- ④地震等で本機が大きく揺れた場合
- ⑤落雷等大きな過電流が流れた場合

上記の状態が発生し、本体が動作しない場合はプラグ型漏電ブレーカの「リセット（入）ボタン」を押してください。本機が動作するようになります。

▲ 警告

前記の処置を行ってもエラー表示が消えない場合や不具合が解消しない場合は、直ちにプラグ型漏電ブレーカをコンセントから抜いて、販売店または当社までご連絡ください。
ショート、感電、火災、故障の原因になります。

矢崎総業株式会社

本社
〒108-8333 東京都港区三田1-4-28三田国際ビル17階
環境エネルギー機器本部 住設事業部 TEL 053(426)3815
〒430-0822 静岡県浜松市南区東町740番地 FAX 053(426)3885

矢崎グループ関連会社

関東ゆワイター・ソーラー(株)本社
〒337-0001 埼玉県さいたま市見沼区丸ヶ崎1040-1
TEL 048(795)8551
FAX 048(795)8557
埼玉営業所 TEL 048(795)8551
千葉営業所 TEL 043(253)9740
神奈川営業所 TEL 0463(93)5471
北関東営業所 TEL 0296(70)0002
西東京営業所 TEL 042(541)9063
福岡営業所 TEL 0247(81)2701

中部矢崎ゆワイター(株)本社
〒422-8072 静岡県静岡市駿河区小黒3-8-15
TEL 054(289)3220
FAX 054(289)3219
名古屋営業所 TEL 052(837)4521
浜松営業所 TEL 053(427)1417
三重営業所 TEL 0598(63)1100

西部矢崎ゆワイター(株)本社
〒812-0042 福岡県福岡市博多区豊1-10-68
TEL 092(432)6801
FAX 092(415)2230
大阪営業所 TEL 072(645)3322
岡山営業所 TEL 086(460)1802
広島営業所 TEL 082(261)8740
香川営業所 TEL 087(844)8222
松山営業所 TEL 089(956)5723
南予連絡所 TEL 0894(69)1225
高知営業所 TEL 088(828)8666
福岡営業所 TEL 092(937)4361
長崎連絡所 TEL 0956(20)1176
熊本営業所 TEL 096(367)3461
宮崎営業所 TEL 0985(39)3334
鹿児島営業所 TEL 099(258)6917
大分連絡所 TEL 097(532)2127